

英語科と家庭科が連携して、調理実習をしました。

広島県東広島市立福富中学校

利用セット「北欧 中学校向」

利用時期 平成 26 年 5 月 21 日～6 月 21 日

福富中学校の渡邊先生に伺いました。

Q 学校図書室セット貸出しを申し込まれた理由を教えてください。

A 中学 2 年の英語単元「A Trip to Finland (フィンランドへの旅行計画)」『SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 (開隆堂)』で、フィンランドの国や食文化についてより詳しく知るために「北欧セット」の貸出しを申し込みました。



Q 授業ではどのように活用されましたか？

A 「A Trip to Finland」の授業の中ではフィンランドの場所や首都などについて簡単に触れている



程度なので、よりフィンランドという国に興味関心をもってもらうためにフィンランドの食文化に焦点を当てました。

家庭科と連携を取り、フィンランドの代表的な家庭料理の調理実習を行いました。オーブンで 1 時間焼く時間が必要だったので、焼いている時間に英語科の授業を行い、その中でフィンランドの気候や食文化、食事のマナーについての話をしました。校長先生や家庭科の教員、担任も加わって試食を行いました。

アンチョビや牛乳粥には、馴染みのない生徒が多く、初めて口にした生徒も多かったようです。なぜ、魚を加工した食品が多いのか、長時間煮込む料理が多いのか、日本との食文化の違いにも興味を持つことが出来たようです。

Q どのような点を工夫されましたか？

食材のアレルギーをもつ生徒への対応には気を付けました。事前に食材や調理方法を保護者の方に伝え、摂取してよい分量の確認や、摂取できないものに関して代わりとなる食材の準備をお願いしました。

調理実習の後、他学年もフィンランドの料理に関心を持ってくれました。調理実習の様子がわかるよう、実習中の写真とコメント・レシピを図書室前に掲示し、当日の実習で使った料理のレシピを自由に持ち帰ることが出来るようにしました。



Q 図書室ではどのように活用されましたか？



図書室内に「国際子ども図書館」コーナーを作り、全校生徒が自由に資料や絵本を手にとって読むことができるようにしました。北欧の絵本の原書に触れてほしかったので、日本語に翻訳されているものは、原書とセットで置き、「見比べてみよう」、原書だけのものは「絵を楽しんでみよう」というコーナーを作りました。期間中の参観日、保護者や地域の方に図書室の開放を行い、見て頂きました。

読んだり見てみたりした感想を、ムーミンの形に切ったメモに書いてもらうようにしました。生徒が書いたメモは模造紙の手書きの大きなムーミンに貼っていくようにし、3枚書いた生徒には手作りのしおりをプレゼントしました。

また、図書室前廊下に「北欧クイズコーナー」を作りました。北欧の国々の位置・人口・首都・平均寿命などクイズのプレートをめくると答えが書いてあります。



Q 生徒たちの反応はいかがでしたか？

中学生も絵本が大好きです。絵本の色使いの違いに関心を持った生徒や、絵の可愛さを楽しむ生徒もいました。図書委員に最終日、本を拭く作業、本が全冊揃っているか確認する作業を手伝ってもらいました。

「青い箱に入って遠い図書館からやってきた本」に生徒は興味をもってくれました。続けて利用することで、興味を持ってくれる生徒が増えていると感じます。また、期間中に行うイベントを楽しみにしてくれています。前回はカナダ・アメリカセットで英語の絵本だったので、英語科の教員と一緒に英語と日本語の追っかけ読みを行いました。今回はフィンランド語を読むことが出来ず、追っかけ読みのイベントは行いませんでした。次回も英語科の授業と家庭科の調理実習を予定しています。



英語の教科書で紹介されている国をよりよく知るために、その国の料理を家庭科の調理実習を通じて味わう学びは、何倍も美味しいですね。国際子ども図書館担当より

(2014年10月)